

「サケが大きくなるまで」の 発展学習として、サケの放流

生命の不思議さやたくましさに
感動し、子どもたちの自然に対する
心の目が変わる!

活動 概要

鹿浜西小学校では、2年生
の国語の授業「サケが大き
くなるまで」の発展学習として、毎年サケの
放流活動をしています。

活動は、サケの受精卵から稚魚を育て
ることから始めており、児童は、約2ヵ月
間、サケを一生懸命育てることで、生命
の不思議さや大切さ、たくましさを感じ
取っているようです。

また、「4年後にまた会いたい」という
気持ちから、放流した荒川に戻って来られ
るように、川の水質や河川環境について
の興味や、川をきれいにしようという気持
ちが育まれたようです。

学校名	東京都足立区立鹿浜西小学校
活動場所	荒川(学校より約400m、徒歩で移動)
対象学年	2年生
科目	2年生国語「サケが大きくなるまで」の発展学習として活動
所要時間	(サケの飼育)11月～2月上旬 (サケの放流)半日



学習のねらい

本学習は2年生国語「サケが大きくなるまで」の発展学
習として実施しています。

活動は、サケの遡上^{さくじょう}の見学、受精卵からのサケの飼育、

成長の観察、サケの放流となっており、これらの過程を通
して、川とサケのつながりの理解や、生命・生態系への興
味・関心が育つことをねらいとしています。

実践
例

活動を行うにあたって



P プログラム内容

活動1	10月下旬	サケの遡上見学会
活動2	11月上旬	2年生国語「サケが大きくなるまで」の学習開始
活動2	12月上旬～2月中旬	サケの受精卵を購入 各家庭や教室でサケの飼育
活動3	2月中旬	サケの放流会

活動時期

・10月～2月に実施

参加した児童数

- ・サケの遡上見学会 (1～6年生の希望者50名)
- ・サケの飼育 (2年生37名)
- ・サケの放流 (2年生37名と2年生以外の希望者54名)



活動場所

- ・サケの遡上見学会……福島県木戸川（バスで移動しました）。
- ・サケの飼育……教室および家庭
- ・サケの放流……荒川（学校から400m、徒歩で15分程度）



使用した道具

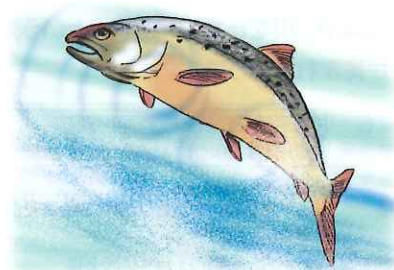
- ・サケの受精卵3000個（購入）
- ・水槽
- ・水温計

STAFF

スタッフの手配

サケを飼育する際、2年生の各家庭に協力を依頼しました。

また、サケの放流時のサポート役として保護者の方々に協力していただきました。



活動内容



活動1 ～サケの遡上見学会～

- 10月の後半に希望者を募り、福島県の木戸川へサケの遡上見学会に行きました。
- 本物のサケの姿を見て、児童は感動していました。
- 11月以降に始める国語の授業や、サケの飼育に対する意識の向上につながりました。



活動2 ～サケの飼育・観察～



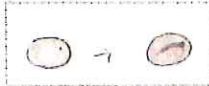
↑ サケに関する授業

- 11月に国語の授業で「サケが大きくなるまで」の学習を始め、サケに対する関心を高めました。
- 12月にはサケの受精卵3000個を購入し、2年生全員とその他の学年の希望者に20個ずつ配布しました。保護者には事前に周知しておきました。
- 2月中旬まで毎日観察をし、成長の記録をとりました（次ページ参照）。

さけのかんさつノート より

① 12月4日(月)晴れ 水温12℃
サケの卵のふ化に挑戦。卵の直径8mm。黒い点が1つある。

② 12月14日(木)曇りのち雨 水温12℃
黒い点が前より大きくなった。
黒い点から線が出ていた。



③ 12月15日(金)雨のち晴れ 水温13℃
今日は気温が高い。ビックニュース！！
朝、学校に行く前にふ化した。ふ化した卵は色が濃い。
学校から帰ると3匹に増えていた。
夜寝る前を見ると8匹になっていた。
ふ化していない卵にも黒い線が出ている。



④ 12月23日(土)晴れ 水温11℃
ポンプのそばに集まっているのが多い。
目がはっきりして、体も長くなっていた。

⑤ 12月29日(金)晴れ 水温10℃
泳ぎ方が速くなった。目が変わった。
泳ぐときに尾を振っている。

⑥ 1月7日(日)晴れ 水温9℃
オレンジの部分が小さくなってきて、どんどん魚っぽくなってきた。

⑦ 1月11日(木)晴れ 水温10℃
今日は初めてエサに飛びつくように食べました。3匹。

⑧ 1月18日(木)雨のち晴れ 水温11℃
今日、水換えの時に、汚れていて水槽がヌルヌルしてた。
エサをあげるようになったからだと思う。

⑨ 1月27日(土)晴れ 水温10℃
背中にしま模様がっていた。



⑩ 2月1日(木)晴れ 水温10℃
悲しいお知らせがあります。首のまがっていたサケが死んでしまいました。

⑪ 2月6日晴れ 水温10℃
大きいものは体長4cm5mmになった。みんな元気にエサを食べている。

⑫ 2月14日(水)
今までお世話したサケとお別れの日です。みんな元気で戻って来てほしいです。



活動3 ～サケの放流～



サケの放流

- サケの稚魚（約4cm）に育ったものを荒川に放流しました。
- 当日は、児童91名、教師4名、保護者9名の計104名で実施しました。
- 児童は、いざ放流しようとなると、「さようなら」「4年後に必ず帰ってくるんだよ」と、気持ちのこもった言葉をかけていました。
- 児童は学校に戻り、感想文を書きました。



活動による効果

生命の不思議さやたくましさ、変化に気づく目や、生き物を愛する心などが育まれます。



関連する単元

- ・2年生－国語「サケがおおきくなるまで」
- ・1・2年生－生活「いきものとなかよし」
- ・3年生－理科「身近な自然の観察」
- ・共通－総合的な学習の時間



子どもたちの広場

- ◎ 私がサケを放したときに、サケは私のほうを見てくれました。うれしかったです。(2年生・女子)
- ◎ サケを今まで育てていました。だから本当は放したくないんだけど、放さなければ大きくなって戻ってこないから放しました。(2年生・女子)
- ◎ 私はサケが一匹でもいいので戻ってきてほしいです。あと、元気なサケになってほしいです。またサケの放流をしたいです。今度は、死なせないで放流をしたいと思います。(2年生・女子)
- ◎ 4年後に大きくなったサケが帰ってくるのがとても楽しみです。ほかの魚に食べられないで海に着いてほしいです。(3年生・男子)
- ◎ サケが泳いでいくスピードが速くてびっくりしました。先生たちのサケを放流するとき、小さいサケがいっぱい泳いでいて、それを見て放流したサケがみんな戻ってくればいいと思いました。(4年生・女子)



先生の声

サケのふ化する様子はとてもわかりやすく、かわいいので、家庭で育てるとかなりの愛着がわいてきます。生命の不思議さやたくましさも感じます。サケを育てることで、変化に気づく目や、生き物を愛する心を育めると思います。

また、サケの放流は、国語、生活科、理科、総合的な学習の時間など、各科の学習ができます。

